

OUBEN TO

オベント



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

冬の鳥頭仙盛り合わせ弁当本500円



O BEN-TO

ミナライホン・ポー

お買い上げありがとうございます。
皆素人と申します。
今回はベン・トーを描かせて頂きました。

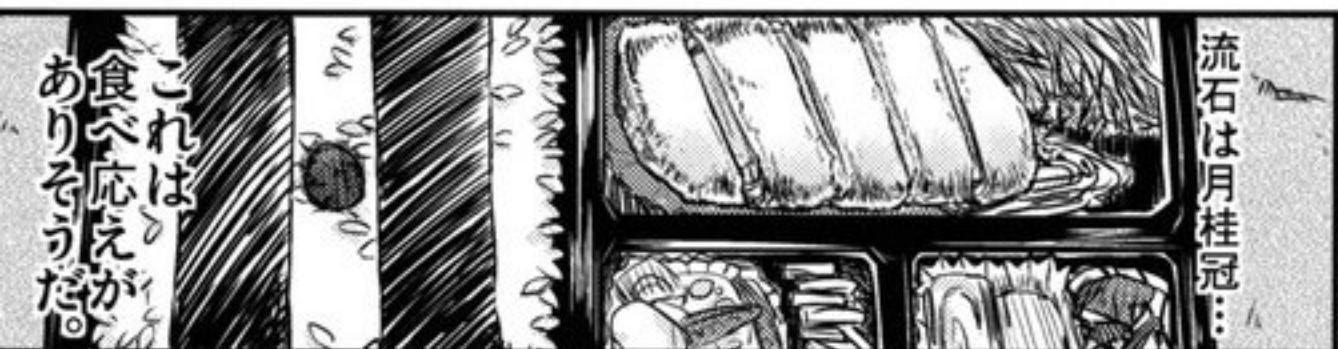
原作もアニメも最高で、OPを何度も
見返しています。三パターンもあるとは……
残念ながらアニメに鳥頭みことは
登場しませんでした。がモチロン今後、
二期とかありますよね……？あるといいな！
それでは短文ですが失礼致します。



フィル

アリス

アリス







おいっ
佐藤...お前...

食事中なんだぞ...
分かってるのか!?!
月桂冠が冷めてしまう



おい、聞いて...

意識が...性行為に取られる...
月桂冠より...



もう
知らん...

性の虫の加護をうけた
佐藤を跳ね除ける力は
私にはない...



んー!!

こんな激しい交尾を
強制されて
意識が取られない訳が...

結局は私も狼である前に
一匹のメス犬なのだ...



気持が良すぎて...
もう何も
考えられない...





佐藤…すごく良かったぞ…



そんなに私との子供が欲しいのか…

最後の一滴まで全部子宮に注ぐ気なんだ…



…まだ出るのか!?



モロ見えですよ…

僕は一体…
って先輩…何てエロい格好してるんですか!?



っえ…!?!
あれ…



佐藤…お前覚えていないとか…

アホーっ!!

おおかた腹の虫と性の虫に同時に襲われ我を失ったんだろ…

そうなんですか!?!はわわ…ス、スミマセンデシタ!!

弁当は冷めるわムードは台無しだわ
佐藤…覚悟は出来ているんだろうな?

ガガガッ
ってセンパイ!!
もう殴ってますって!
ちよ…これは暴力の虫にぎゃあああああ





■八巻のクリスマスの格好の仙が
エロくて最高でした。
服の中が一体どうなっているのか
中身を妄想する日々です。



■メイドカフェで働いているなんて
ただでさえドストライクなのに
ますます好きになってしまいました。
隠し裏メニューのエロい要求を平然と
こなす みことさんを妄想……





臭いだけで
孕んじゃうよお……

はあ……



洋の事考えながらだと
手が止まらない……

あ……
イっちゃう……



あつ……
あつ……

あのく鳥頭先輩……
僕の部屋で一体
ナニをしてるんですか……



洋の部屋……
すっごく……鳥賊臭いよお……
でも……好き♡

洋……
よう……

……



あつ……
洋だあ……

今……洋の顔見ながら
イってるよ……
すごい……キモチ良いよ……



仕事も終わったし、明日は休みだもん…

ふふふふふ…
そんなの、決まってる
じゃない…



まったく…合鍵を先輩に渡した記憶は無いんですけど…

ホント驚きましたよ。今日はどうしたんです？

ギョッ



性欲の虫に、従うままに…
洋とえっちするため、だよ…
洋が来るまで、我慢出来なくて、
独りで、いじっちゃってたけど。

ほら…ここ…見てみて…
もう準備は出来てる、よ…
いっつぶち込んできても
良いから…

ふふ…
洋の部屋のイカ臭さと
私のマンコの香りが
混ざりあって…獣っぽい、
凄いニオイしてるね…



これでも
食べたくない？

いえ、
モチロン食べます
いただきます。

ほら…



確かに…
凄い臭いですね



あれ？
なに、その薄い反応…
勃起しないの？



あっ…♡
はあああ



良かった…ちゃんとして…
勃起してくれたあ…
じゃあ、入れちゃうよ…

久しぶりの、洋のちんぽ…
お腹いっぱい…食べたい…
獣のようなセックス、しよ♡



洋の…
おっきいよ…♡



あんっ♡
ズンズン
やっぱり…洋の
獣ちんぽと、相性…
良い…ね…♡



きっかけは…演技からだ…
でも…あの時…洋に処女を
奪われてから私は…変わった。

洋…
覚えてる…？



洋…
洋っ…



あの頃…荒れてた私をちゃんと見てくれたのは洋だけだった…

優君じゃ…駄目なの…今はもう洋が居ないと生きていけない…



先輩の膣内…トロットロです…!



ひいつ!? 洋っ…それ…激しいっ♡



あんっ…すぐイっちゃごよ…♡





また来たんですか…
鳥頭先輩…

もう制服姿には
無理があるのでは…

そうなの？
洋は似合うって
褒めてくれる…よ

別に洋以外の…
評価なんて、
どうでも…いいし



佐藤、佐藤…って
いいんですか？
ウィザードの事は

一体、いつの
話を…してるの？

もう、優くんは…
いいの…だって
私には洋が、居るし。

……

もしかして…
嫉妬してる…？



渡さない…

佐藤も
半額弁当も…

戦るの？

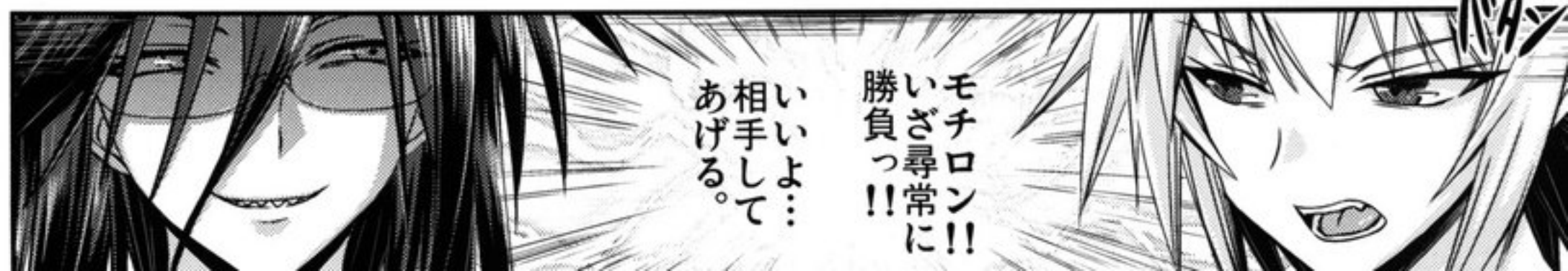


ふふふ…
怒った？

この際、ここで佐藤の
つがいは誰なのか
はっきりさせましょう

何で？

洋はもう…私の
雄狼なんだし、
何の意味があるの？



もちろん!!
いざ尋常に
勝負っ!!

いいよ…
相手して
あげる。

「…何、これはどういう事？優君…
今更好きだって、言われても…
大事に取っておいた仙を、洋に
寝取られて、私に乗り換えたの？」

「頼りになつて、芯があつて、そして
とても真面目な優君が好きだったよ…
でも、私をちゃんとして見つけてくれたのは
アナタじゃない…洋だったの…」

「いいよ…可愛そうな、優君…
今夜だけ私のマシコ使わせてあげるよ…
まったく濡れて来ないから、そこにある
ローションとゴムを、ちゃんと使つてね…」

「え…？違うよ…
洋とセックスする時は、いつも生だよ？
何度も膣内射精してもらってるの…
すごく気持ちいいんだよ…あ、濡れてきた
…優君も、いつか生でさせてくれる相手…
見つかるといいね…。」



「おかえり〜洋。
約束通り、スーパ―行ってないよね？
今日も、洋の大好物なものばかり、
作っておいたよ」

「さっそくゴハンにする？
あと、お風呂も沸いてるけど…ね？
それよりも…昨日の様に…
私の膣内に、中出し交尾しちゃう？
…して欲しいな」



「あっ…洋のオチンポ…洗ってない…でも、構わず突っ込んだじゃうんだね…性の虫の効果で、いきなり、あん…ちよ…激しいね…すごい臭いするし…でも気持ちいいね…んんっ♡」

「あ…はっ…ちよっ…と激しい…待って、洋…あん♡」

「腹の虫の加護と、狼の血ですごい…攻撃的になっちゃってる…ふあっ…まっ…服汚れちゃうから…脱ごう?」



「洋…そろそろご飯、一緒に食べようよ…
もう、日付変わったよ…ね？洋…？
そんなに、私の膣内に出すの気持ちいい？」

「あ…聞いてない。もう…うふふ
いいよ…何時まででも交尾しよう…
あ…また出てる…」

あつ♡

はあ♡

子宮…
降りて来てる♡

はあ♡

ハアッ
ハアッ
ハアッ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

「もう…ずっと私イっちゃってる…
メス狼の血に、引き摺られているのかな…
もう…洋の事しか考えられない…あんなに」

それじゃ…仕事あるから
いったん帰る…ね…
ご飯、温めて食べるん…だよ？

洗濯物は、土曜にまとめてやる
から、そのまま…いいからね。
今夜もちゃんと、作りにいくから…
仙…半値印証時刻に、スーパーに
行ったら…だめだよ

あと、
それから…それから
えとせとら…
えとせとら…(ry

それじゃあ…洋
もう…行くね。

……洋。

次、来たら…
今日の続き…もつと
もろっつとしようね。v

ハアアッ

ウツツ



奥付

発行日:2012.02.29

誌名: オペン・トー

発行:みならい本舗

発行者:皆素人

印刷:マツモトコミックサービス様

連絡先: minarai_honpo@yahoo.co.jp

ブログ: <http://minazin.blog39.fc2.com/>

※未成年者の閲覧・購入はご遠慮下さい

0

0

0

めならい本舗

0

0

0

0

